

## 平成22年度 教養教育シラバス

レコード番号	209		
登録日時	2009/11/2 11:47	登録者	田中 邦明
更新日時	2009/12/8 10:16	更新者	長谷川 芳典

科目区分 (22年度 入学)	主題科目 (人間と社会)
科目区分 (21年度 入学)	主題科目 (人間と社会)
講義番号 (22年度 入学)	911209
講義番号 (21年度 入学)	911209
授業科目 (22年度 入学)	行動分析学入門
授業科目 (21年度 入学)	行動分析学入門
授業科目 (英語) (22年度 入学)	Introduction to Behavior Analysis
授業科目 (英語) (21年度 入学)	Introduction to Behavior Analysis
主題キー ワード	自己と他者、文化、政治、経済
学期	前期
単位	2単位
曜日	木曜
時限	2時限
対象学生 (22年度 入学)	Aグループ (教・理・医・歯・薬・環・農)
対象学生 (21年度 入学)	Bグループ (文・法・経・工・MP)
注釈	平成20年度以前入学者は、授業時間表を確認してください。
必修・選 択の別	選択
担当教員	長谷川 芳典
所属	社会文化科学研究科 (文学部)
電話番号	<a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html</a> 参照

Eメール アドレス	<a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html</a> 参照
オフィス アワー	水曜2限。Eメールによる事前連絡推奨。なお上記のEメールアドレスは、「迷惑メール防止フィルター」を透過させているため、メールで相談を希望する場合は、必ず、授業中に指定した文字列をメールの件名に含めること。指定文字列が無いと、自動削除され受信できない。
授業の概 要	前半では教科書を用いて、行動分析学の基本概念を習得。後半では、それらに依拠した「能動主義」の3つの視点に基づき、受講生から寄せられた「人はなぜ〇〇するのか」という疑問に答えつつ、生きがい、やる気、自由、レジャー、消費、セルフコントロールなどについて幅広く考え、自己と他者の問題に迫る。
学習目標	「オペラント概念＝能動」の視点から自己と他者をとらえ、勉学や将来の生活に活かす。授業でとりあげる諸テーマを中心に日常生活で生じる諸問題をクリティカルな目で分析し、受講生それぞれにあった能動的な生きがい観を構築することを到達目標とする。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回概要説明、まずは白紙に戻して考える</li> <li>●第2回～6回教科書の第1章から第5章までを解説 心理学をめぐる誤解／行動の原理／行動をどのように変えるか／スキナーの思想と実験的行動分析／言語行動</li> <li>●第7回～10回教科書の補足説明 阻止の随伴性／行動随伴性の詳細／ルール支配行動／レスポナント条件づけ／目的論的行動主義／長期的、複合的、全人的な視点</li> <li>●第11回目以降は、受講生から集められた「人はなぜ〇〇するのか」という疑問に答えつつ、生きがい、やる気、自由、レジャー、消費、セルフコントロールなどについて幅広く考え、自己と他者の問題に迫る。</li> </ul>
受講要件	事前の知識は必要ない。但し、毎回の出席が不可欠。また、インターネット上に開設された授業専用サイトに、毎週1度以上アクセスして予習復習できること。
教科書	授業の前半では 杉山尚子『行動分析学入門～ヒトの行動の思いがけない理由』集英社新書. 660円. ISBN 4-08-720307-7. 生協扱い。 授業の後半は独自の資料を配付もしくはネット上の専用サイトで提供。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●杉山尚子ほか『行動分析学入門』産業図書. 3600円. ISBN 4-7828-9030-3.</li> <li>●オドノヒュー・ファーガソン著『スキナーの心理学』二瓶社. 2300円. ISBN4-86108-016-9</li> </ul> 上記参考書は高価なので、将来、長谷川の専門科目の講義の受講を予定している者以外は、必ずしも購入する必要はない。 このほか関連資料は、ネット上の授業専用サイトからリンク。
成績評価	シャトルカード使用。毎回の授業の終了時に、その回に学んだことを記入。これらの記入内容を50点満点で採点（従って欠席や遅刻が多いと大幅減点となる）。 授業の節目に持ち込み不可の小テストを3回実施。これらを合計50点満点で採点。なお、小テスト実施日に欠席した場合の追試験は、公欠の条件を満たした場合に限って実施する。
研究活動 との関連	担当教員は、文学部および大学院・社会文化科学研究科で心理学領域を担当しており、行動分析学関連の講義や演習を開講している。
JABEE との関連	(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
コメント	授業専用サイトをネット上に開設予定 ( <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/</a> ) 30分以上の遅刻または早退は5割に減点。60分以上の遅刻はその回のシャトルカードの提出を認めない。